

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.113

田中 康夫

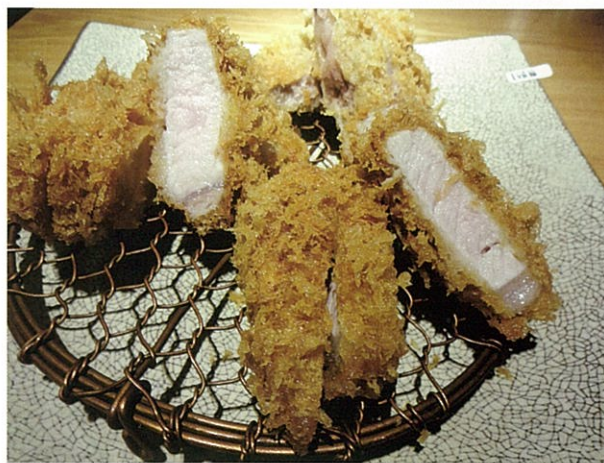


たなかやすお ● '56年生まれ。作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。
【公式ブログ】 <http://tanakayasuo.net/>



超高齢社会で求められているのは 小さくとも確かな目に見える「変化」

今週の逸品



ロースかつ盛り合わせ 2500円

南青山三丁目から西麻布へ向かい、不思議な提灯が目印の小振りな店。写真のロースかつは千葉県産の白王豚、岩手県産の岩中豚、静岡県産のLYB豚の盛り合わせ。品書きは実に豊富。サラミと黒豚舌の燻製1400円、豚すじ揚げ500円で始め、ヒレかつ盛り合わせ1900円かロースかつ盛り合わせへ。前日予約の赤月鍋2600円はバームクーヘン状の野菜盛りにしやぶしやぶ肉を載せた珍品。事前予約で串揚げも。ワインの持ち込み可。

【南青山 となかつ 赤月】東京都港区南青山4-1-8 麗雲ビルB1 ☎03-6459-2049 ①11:30~14:30(LO)、18:00~22:00(LO) 日曜定休 <http://tonkatsu-akatsuki.c.oco.jp/>

illustration by Hajime Anzai

前回の東京オリンピックは1964年昭和39年の開催。直前に東海道新幹線が開通し、首都高速道路も供用され、小学二年生だった僕のみならず誰もが、日本は凄いと感じます。他方で前年から都心部で、欧州の街では今でも見掛ける路面電車の軌道撤去が始まりました。「陽と陰、同時並行で出現した二つの「変化」です。

大丸系からイオン系へと今春に資本が代わったピーコックスストア青山店が、現在はUR都市機構が保有する公団住宅の一階に誕生したのも五輪の年。爾来49年、南青山三丁目交差点の店内へ訪れると、腰を屈めてカートを押す高齢者が圧倒的で、都心部に於ける限界集落化の進行を実感します。

同じく青山通り沿いの表参道寄りでも連日深夜まで営業の「麵飯坊」へ訪れると、更に痛感するでしょう。来店客は、神宮球場で観戦後の若年や壮年の集団に留まりません。独り暮らしと思いき近隣の老翁や老婆が、豚肉高菜そばや天津井を食へ終え、愛用の布製買い物袋から財布を取り出します。

通い慣れているが故に価額を覚えていたのでは。その多くは釣りが要らぬようにと律義に740円なり870円なりを予め握り締め、入口脇で支払うのです。対応するのはコンビニ同様、大陸や半島からの留学生。曰く言い難き情感に襲われます。

前回開催時、日本の高齢化率は6%でした。現在は25%で4人に1人が65歳以上の高齢者。既に北欧を上回り、世界一の超高齢社会です。次回開催時には30%を超えると国立社会保障・人口問題研究所は予測しています。



用地買収も予算措置も困難、出来ない条項を並べる役人的心智が蔓延し、東京メトロ、都営地下鉄の1割以上の駅でエレベーターもエスカレーターも未だ皆無の中、丸の内線方南町駅に登場の「ペビーカー」おろす「ジャニー」が目玉を集めるのは象徴的です。

「やってみなはれ」精神が社会に横溢したればこそ国民は往時、目に見える大きな「変化」に血湧き肉躍りました。超少子・超高齢社会の今日、求められているのは小さくとも確かな目に見える「変化」です。足腰が衰えた老人も、乳児を抱いた母親も、階段を上るより降りる方が難儀。後者は取り分け、足元を確認し辛いのです。

上下2本のエスカレーター同時設置が難しいなら、下り設置こそ優先すべき。と15年前に「朝日新聞」の連載で提案したら、下り優先など有り得んと心臓疾患の読者から批判を受けました。斯くなる御仁にとっては上下共に難儀であるように、「効率優先」社会に洗滌されてきたのかも知れません。

若き揚げ手が一人で営む南青山の「とんかつ 赤月」は、隠れた逸軒。新国立競技場を巡る前号で紹介した建築家・横文彦氏の指摘を援用すれば、料理の出来上がりを待つ「ゆとり」、味わい楽しむ「ゆとり」の大切さを改めて教えてくれる家内制手工業の時空です。